

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 1 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	3 人	人	8 人

前回の改善計画
ケアマネジャー、ユニットリーダー以外の職員も、少しずつ利用前の面接に行くようになってきているが、事前ミーティングは行っていない為、利用前に様々な職員が関わる事で出来るだけ情報を共有し、職員間の連携強化を図っていく。今後も利用後は声掛けや気遣い、生活を支える為の支援、ご本人、ご家族との関係作りについての勉強会を定期的に開催し、介護職員のスキルアップに努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新規利用前の事前ミーティングは、しっかりとした形で開催はできていないが、利用前に職員間で話し合う場面も多くなり、事前情報と対応が異なる事があっても臨機応変な対応が出来る様になっている。また、利用後はご本人、ご家族と信頼関係を構築する為、積極的に関わりを持つようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	3		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		6	2		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	5	1		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	事前に作成した個人情報書を読み、各自情報共有出来ている。また、利用前確認する個人情報書や、申し送り等でわからない事があればその都度担当者に確認し、情報を共有している。
②	利用前にご本人やご家族が希望している支援をケアマネジャーと共有し、利用後も担当介護職員と連携強化を図り、日々変化のご本人やご家族の希望に臨機応変に対応している。
③	通い利用時はレクリエーション等のグループ活動を通じて、他のご利用者や職員と交流を図って頂き、不安な気持ちを取り除いている。また、訪問時は積極的に声掛けを行い、信頼関係を築ける様心掛けている。
④	利用中の面会時、送迎・訪問時は自宅での様子や、在宅介護を行う上で困っている事がないか、頻回に声掛けを行っている。また、知り得た情報は申し送りや、定期の介護職員フロア会議で情報共有している。

できていない点	200 字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①	新規ご利用者については、定期の職員会議や日々の申し送りを行う事で情報共有を図っているが、職員同士で話し合う時間が少ない事により、介護統一が出来ていない。
②	初期支援の段階では管理者やケアマネがご本人、ご家族と話を進めている事が多く、介護職員がご家族と接する機会が少ない為、書面だけではニーズを把握する事が出来ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字程度)
各職員、新規利用前に情報書をしっかり読む事で、ある程度情報を共有する事が出来ており、利用後についても柔軟な対応が出来る様になっているも、事前ミーティングは行えておらず、利用後はケアマネジャーやご利用者担当介護職員中心で話を進めていく事が多い。その為、今後は職員全員が中心となって対応策を考え、ご利用者、ご家族が安心して利用して頂ける様取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 1 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	2 人	人	8 人

前回の改善計画	担当介護職員は、サービス担当者会議開催後、ご本人やご家族からの意向を反映した介護計画書を作成し、他の職員も閲覧できる場所に保管しているが、業務中見る機会が少なく、介護計画書の内容も各担当介護職員だけが把握している事が多くある。また、作成した介護計画書も、今回のサービス担当者会議まではご利用者やご家族と振り返る機会も少ない為、今後は定期的に振り返る機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人、ご家族との信頼関係も構築出来ており、ある程度希望に沿った介護計画書は作成出来ているが、ご利用者担当職員以外には介護計画書の内容がまだまだ周知徹底出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	4		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	1		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	1		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	3		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②利用前にはご本人やご家族から意向を聞き、介護計画書に反映している。また、ご本人の状態や目標を明確にする為、定期的にサービス担当者会議を開催している。作成した介護計画書は介護職員全員が閲覧できる様 1 つのファイルにまとめている。</p> <p>③介護職員は担当しているご利用者だけでなく、全てのご利用者の意向を把握し、適切な関りを行っている。</p> <p>④日々気づいた事は各自申し送りを行う事で情報を共有し、日勤⇄夜勤の引き継ぎも毎日行っている。また毎月介護職員フロア会議を行い、サービスの振り返りや、事例検討を行っている。</p>	

できていない点	200 字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①担当介護職員はケアマネジャーと共にサービス担当者会議を開催し、介護計画書を作成しているが、日々の業務に追われ、確認業務を行っていない。</p> <p>③各自、担当しているご利用者やご家族とは関る時間を多く持ち、目標に向けて積極的に取り組みを行っているが、他のご利用者については意向を知っていても、消極的な面が見られる。</p> <p>④毎月介護職員フロア会議を行っているが、業務上の都合で不参加になる事もあり、議事録での確認になってしまう。また、会議中積極的な発言が見られず、プランを振り返り、次に活かせる様な充実した会議を行っていない事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字程度)
<p>再アセスメント後は、ご本人、ご家族の希望に沿った介護計画書を作成し、介護職員が閲覧出来る場所に保管しているが、日々の臨機応変な対応に追われ、介護計画書作成後は定期的に振り返り、確認する事が無い。今後は介護計画書の保管場所の再検討や、介護計画書確認シート等を作成し、介護職員全員がご利用者の介護計画書を把握し、振り返る機会を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月1日 ( 17:00~19:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	人	8人

前回の改善計画
在宅支援を行う上で、どうしても自宅での生活はわからない事が多くある為、ご家族との連携強化を図る事で、自宅での様子を把握し、知り得た情報については職員間で申し送りを行う事で情報を共有していく。独居の方についても訪問時の様子を確認し、必要時は適宜ご家族との連携強化を図り、独居生活のサポート行っていく。また毎月行っている介護職員フロア会議を今後も継続し、定期的なプランの見直しや援助方法の再確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者の生活環境の違いや、利用されているサービスの違いにより、日々柔軟な対応が求められる場面も多くあるが、ケアマネジャー、ユニットリーダー、担当介護職員中心に臨機応変な対応が出来る様になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	7		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		8			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	4		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		6	2		8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③	ご本人やご家族と積極的に関る事で情報を収集し、日常生活動作の中で出来ない事の支援を行っている。また、適宜申し送りノートへの記入、毎日の申し送り、毎月介護職員フロア会議を行う事で、個々に収集した情報を共有し、在宅生活のサポートを行っている。
④	状態の変化に気づけば、介護職員間で共有するだけでなく、看護師や主治医との連携強化を図っている。
⑤	体調不良時や、ご本人やご家族から要望があれば、出来るだけ迅速に対応する様心掛けている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②③	利用前に個人情報書を読んでいるが、ご利用者一人ひとり利用されているサービス(通い・宿泊・訪問)が違い、また、介護職員の雇用形態や関わり方の違いから、ご利用者の生活環境が把握出来ない事がある。
⑤	共有した情報はある程度把握し支援を行っているが、継続した支援が行えていない事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
情報共有しているつもりでも介護職員の受け取り方の違いにより、介護統一出来ていない事がある。その為、個々の解釈で判断するのではなく、介護職員全員が情報をもとに、話し合う機会を今まで以上に多く持つ事を意識し、しっかりとご本人、ご家族のニーズを把握する事で、緊急時も臨機応変な対応が出来るよう取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月1日（17:00～19:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	2人	人	8人

前回の改善計画	介護職員は、以前に比べてサービス利用後も通いや訪問利用時に、積極的に情報収集を行っているが、まだまだケアマネジャーや担当介護職員以外は把握していない情報もある為、今後も出来るだけ介護職員全員がご利用者の地域と関わる機会を多く作り、職員間の申し送りも再度徹底する事で、ご利用者やご家族の情報を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の年間行事である7月の夏祭り（子供みこし）、12月のお餅つきには、出来るだけ毎年違う介護職員が参加し、地域と関わる機会を多く作っている。また、地域の行事には出来る限りご利用者にも参加して頂き、地域と交流を図って頂けるよう心掛けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6	2		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		6	2		8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4	4		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			7	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②個人情報書をよく読み、今まで生活歴を把握する様にしている。また個人情報書を読んでわからない事等あれば、その都度作成者に質問し、利用後も出来るだけ今までの生活スタイルが変わらない様心掛けている。</p> <p>③各担当は利用前の個人情報書だけでなく、利用後も送迎時や面会時に自宅での様子を伺う事で利用日以外の様子を把握している。</p> <p>④管理者、ケアマネジャー、担当介護職員がご本人の暮らしに必要な情報を把握し、介護職員に申し送りを行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②サービスを利用される事で生活環境が変わってしまい、地域との関係が途切れてしまう事がある。</p> <p>③必要時は訪問等のサービスを行う事で自宅での生活支援を行っているが、独居の方や自宅での生活をご家族にお任せしている方に関しては把握出来ていない事がある。</p> <p>④事業所として地域活動へは参加しているが、民生委員や町会長、地域の役員など関わるのは事業所管理者がほとんどで、介護職員は関わる機会が少なく地域資源等把握出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<p>来年も継続して7月の夏祭り（子供みこし）、12月のお餅つきには介護職員、ご利用者に参加して頂き、地域との交流を図っていく。また、サービス利用後も出来る限り住み慣れた場所で、出来るだけ生活環境が変わることなく過ごして頂けるようご家族、地域と連携強化を図っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月1日（17:00～19:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	今後も事業所理念である『住み慣れた場所で家族との絆、地域との交流を大切にし、笑顔あふれる生活をともに目指していきます』を目指していく為、今後も定期的なミーティングだけでなく、必要に応じて会議を開催し、通い、訪問、宿泊を柔軟に組み入れたサービスを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネジャーやユニットリーダー不在時でも緊急時は適切に判断し、臨機応変な対応が出来る様になっており、ご利用者、ご家族が安心して利用できるようになってきている。また、ご利用者の状態の変化や、生活環境が変わった場合などは、積極的に話し合う場を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5	3		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	4	1		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		8			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①月2回地域のふれあい喫茶に参加させて頂き、年3回程度は施設内で出張ふれあい喫茶を開催しています。また、それ以外にも様々なボランティアの方に来て頂き、地域の活動（子供みこし・お餅つき）等へも毎年ご利用者と共に参加し、地域の方々と協力しながら充実した生活が過ごせるよう支援しています。</p> <p>②必要時はケアマネジャーと相談しながら要望に添ったサービス（通い・訪問・宿泊を柔軟に組み入れたサービス）を提供している。</p> <p>③毎日、日勤者⇒夜勤者、夜勤者⇒日勤者への申し送り、経過記録や訪問用紙の記入を徹底する事で、情報共有を行っている。また、毎月介護職員フロア会議を開催し、職員間の連携強化を図っている。</p> <p>④ご本人やご家族からの要望や、問題が発生した時は、ケアマネジャーやユニットリーダー、日勤リーダーを中心に話し合いを行い、柔軟な対応を行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①普段、地域との関わりは事業所管理者が中心で行い、ボランティアの方との日程調整も、担当している係りがメインで行っている為、職員間で情報共有出来ていない事がある。</p> <p>②④ケアマネジャーやユニットリーダー不在時は、ご本人やご家族からの要望に対して、臨機応変に対応出来ていない事がある。</p> <p>③ご利用者の状態に変化があれば、経過記録等への記入は徹底出来ているが、記入方法にばらつきがあり、記録を読むだけではご本人の変化に気付く事が出来ていない。また、毎月介護職員フロア会議を行っているが、参加人数が少ない時もあり、十分な会議が行えていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<p>今後も継続して、事業所理念である『住み慣れた場所で家族との絆、地域との交流を大切にし、笑顔あふれる生活をともに目指していきます』を目指していく為、定期的なミーティングだけでなく、必要に応じて会議を開催し、通い、訪問、宿泊を柔軟に組み入れたサービスを提供していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月1日（17:00～19:00）

6. 連携・協働

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	5人	1人	8人

前回の改善計画
現在も事業所連絡会や運営推進会議は、事業所管理者やケアマネジャー、ユニットリーダーがメインで参加し、その他の介護職員は地域包括支援センター職員やその他サービス機関の職員と、まだまだ関わる機会がない為、今後も介護職員も定期的に参加出来る環境を整える。また、ボランティアの方や、町会の方がマルベリーへ訪れるだけでなく、地域の高齢者や子供たちに向けて催し物を企画し、普通救命講習、認知症サポーター養成講座などの勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所連絡会や運営推進会議は、事業所管理者やケアマネジャー、ユニットリーダーがメインで参加し、その他の介護職員は地域包括支援センター職員や、その他サービス機関の職員とまだまだ関わる機会が少ないが、他事業所に向けて普通救命講習を開催する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		5	1	2	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		6	2		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	①ご利用者ごと定期的にサービス担当者会議を開催している。 ②2ヶ月に1回開催されている運営推進会議の中で、事業所管理者やケアマネジャー、ユニットリーダーを中心に、ご利用者、ご家族、地域包括支援センター職員、地域の方を交えて会議を行っている。 ③毎月、町会主催のふれあい喫茶に参加させて頂き、年間行事の夏祭り（子供みこし）、お餅つきなどにもご利用者と共に参加している。 ④年3回、町会の方がマルベリーへ来られ、いつもは町会の会館で行っているふれあい喫茶を、マルベリーで開催している。また、定期的に近隣の園児がマルベリーへ来られ、園児交流会も開催している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	①介護職員も、定期的に開催するサービス担当者会議の中で、他事業所の職員と関わる事はあるが、必要時は事業所管理者やケアマネジャーが連携を図っている為、介護職員とその他のサービス機関の職員と関わる機会が少ない。 ②運営推進会議は管理者やユニットリーダーが中心に参加している為、直接地域包括支援センター職員と話をする機会はなく、会議の内容も書面で確認している。 ④催し物開催時は町会の方や、ボランティアの方がマルベリーへ来られるが、それ以外の日はほとんど来られる事がない。

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
	ケアマネジャー、ユニットリーダー以外の職員は、まだまだその他サービス機関や地域のイベントに参加出来ていないが、年々参加する機会は多くなっている為、出来る限り多くの介護職員が参加できる環境を整える。 また、今後は他事業所に向けた勉強会だけでなく、地域に向けた勉強会も企画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月1日（17:00～19:00）

7. 運営

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	2人	6人	人	8人

前回の改善計画	介護職員は町会の催し物に参加しても、意見交換などする機会は少ないので、今後も地域に向けて普通救命講習や認知症サポーター養成講座を通じて出来るだけ関わる機会を多く作り、自由に意見交換できる場を設ける。また、介護現場でも職員が自由に発言出来る環境を整え、必要に応じて意見を反映させていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月1回職員会議、年2回職員面談を行う事で、職員間で情報共有を行ったり、職員個々に事業所のあり方について話し合う場を設けている。地域に向けては普通救命講習、認知症サポーター養成講座は行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		4	4		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5	3		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？			7	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5	2	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①必要時はユニットリーダーを中心に話し合いを行い、職員間で意見交換出来ている。また年二回、事業所管理者との職員面談の中で意見を言う事が出来ている。</p> <p>②送迎や面会時にご家族から意見や苦情等あれば、当日出勤者で解決できる問題は臨機応変に対応し、必要時はケアマネジャーやユニットリーダーに相談する事で、事業所運営に反映させている。また、苦情相談シートも適宜活用している。</p> <p>③運営推進会議の中で地域の方から要望等あれば、適切に対応している。また、マルベリー玄関フロアに意見箱を設置している。</p> <p>④年二回ご利用者やご家族、地域住民参加型の防災避難訓練を行い、地域との連携強化を図っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①積極的に話をする職員と、話をするのが苦手な職員がいる中で、現場としてまとまった意見に偏りがある。また、面談時に意見を言う事はある程度出来ているが、実際職員間の意見が反映出来ているかわからない。</p> <p>②投書箱は設置しているが、なかなか投書される事がなく、自由に意見を伝える環境が整っていない。</p> <p>③地域の方から意見や苦情があっても、書面等で報告がなければ分からない事がある。</p> <p>④実習生の受け入れ、地域に向けて普通救命講習、認知症サポーター養成講座など行う事が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<p>今後も現場の介護職員が、働きやすい環境で業務出来る様に、毎月の職員会議、年2回の職員面談を継続する。また、地域との関係性を今以上に構築し、地域に開かれた施設を目指していく。その為に実習生の受け入れ、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座を実現させる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 1 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8 人	人	人	8 人

前回の改善計画
地域の連絡会等は、事業所管理者やケアマネジャーだけでなく、ユニットリーダーを中心に、介護職員も参加出来る環境を整え、地域との関わりを深めていく。外部研修についても介護職員に情報提供し、自主性を促していく。リスクマネジメントについては事故があった際、報告書を作成しているが、まだまだ次に繋がる対応が出来ていない事も多い為、記入方法を含め、定期的に事故報告書やひやりはっとの勉強会を開催し、職員間の理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
介護職員全員が定期的に外部研修に参加し、スキルアップに努めている。また、リスクマネジメントについても事故防止委員会を中心に、事故やひやりはっとならば、事故防止に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		8			8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	3		8
③	地域連絡会に参加していますか		2		6	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③事業所管理者が年間スケジュールを作成し、介護職員は各委員、係りに合った研修に参加している。研修参加後は施設内勉強会を開催し、介護職員全員がスキルアップする様努めている。また、個々のスキルアップや資格取得の為に、認知症介護実践・リーダー研修や、救命救急普及員講習への参加も出来ている。	
④転倒等の事故があった際は事故報告書を作成し、発生要因、改善策を職員間で話し合いを行い、作成した報告書については他部署へも配る事で再発防止に努めている。また、事故は起きていないが、事故に繋がりそうな事があれば、ひやりはっとなを作成する事で、未然に事故を防止している。	

できていない点	200 字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②③介護職員は、年間スケジュールの研修に参加しているが、自主的には参加出来ていない。また地域の連絡会へは事業所管理者やケアマネジャー以外は参加していない。	
④事故発生後や、事後に繋がりそうな場面があった際は書類を作成しているが、報告書を書くのを苦手にしていて職員も多くいる為、書面だけでは周知徹底出来ておらず、再発防止が出来ていない事がある。また、日々の業務が忙しい為、作成した報告書を読んでも、その後余裕をもって改善策に取り組む事が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字程度)
外部研修については事前に年間スケジュールを伝え、出来る限り介護職員の希望に沿った研修に参加できるよう心掛ける。年間を通じて事故等は年々少なくなっているが、これからも事故防止委員会中心にリスクマネジメントに取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 1 日 ( 17 : 00 ~ 19 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 館・花野・嶋田・富田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	1 人	人	8 人

前回の改善計画	声掛けについては日々の業務に追われ、ご本人の想いに沿った関わりが出来ていない為、介護職員の働く環境を整え、スピーチロックについても事故・身体拘束防止委員会を中心に、ご利用者の想いに沿った対応が出来る様、定期的に会議を開催する。個人情報の取り扱いについても再度徹底する。成年後見人制度についてはほとんど理解している職員がいない為、勉強会を開催し理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束や虐待のケースなく、ご本人、ご家族が不安なく安心して過ごせるよう、職員間で情報を共有し、緊急時も職員間で連携強化を図る事で臨機応変な対応も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1	6	1		
②	虐待は行われていない	2	6			
③	プライバシーが守られている	2	6			
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	6	
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	7			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②事故・身体拘束防止委員会が、虐待に繋がりそうな環境や支援が行われていないか定期的に検討会議を行っている。また、必要時は適宜話し合いを行う事で、現在身体拘束は行われていない。 ③⑤支援経過等は適切な場所で記入し、保管場所も徹底している。また、ご利用者の想いに添った支援を行う様個々に配慮している。 ④ご本人、ご家族から成年後見人制度への相談があった際は、事業所管理者やケアマネジャーから説明を行っている。	

できていない点	200 字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②ご本人の安全面 (転倒、転落など) を配慮するあまり、身体拘束と思われてもおかしくない対応をしている事がある。また通常業務に追われ、スピーチロック (ちょっと待って下さいなど、ご本人の想いや行動を制限する声掛け) をしている事がある。 ③⑤日々の業務に追われ、ご利用者の健康状態や、予定などを他のご利用者や、ご家族が聞こえてしまう場所で話をしてしまう事がある。また、個人情報の書いた書類なども指定の場所以外に置いてしまう事がある。 ④成年後見人制度についての相談がほとんどなく、ご本人やご家族から相談があった際、説明できる介護職員に限られている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字程度)
声掛けについては日々の業務に追われ、まだまだご本人の想いに沿った関わりが出来ていない為、今後も介護職員の働く環境を整え、スピーチロックについても事故・身体拘束防止委員会を中心に、ご利用者の想いに沿った対応が出来る様、定期的に会議を開催する。成年後見人制度についてもほとんど理解している職員がいない為、勉強会を開催し理解を深めていく。	

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- 職員が自ら提供するサービス内容について振り返りを行い、各自の振り返り結果をミーティングにより確認しながら問題意識を向上させ、現状の課題や質の向上に向けて取り組む姿勢が見られます。
- 事業所評価に姿勢は大変積極的だったと思います。
- スタッフ全員の意見を取り入れようとする姿勢が十分うかがえました。
- 事業所全体ではよく取り組んでいると感じます。

【前回の改善計画に対して意見】

- 利用者が不安なくスムーズに利用できる情報共有の取り組みや、利用後も問題なく利用されているか確認する姿勢は見られます。
- 職員会議や面談により、職員間の情報共有ができているのが良いと思う。
- 十分とは言えないかもしれないが少しずつ形になっていると思います。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- 利用者は『～したい』の現実（自己実現）を達成の為、日常生活の支援を受けておられると思います。実際に自己実現（今の現状での）され、さらに上の自己実現を目指すケアプランを発表してみてください。
- 日常業務をこなしながらの計画実行はむづかしい事かと感じましたが、毎日の実現に向けての努力が達成につながると十分感じました。
- 達成可能な計画になっています。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- 振り返ることが予後予測につながっていると思います。
- 事業所内での計画実現については職員間での連携もあり、結果が出ているように思います。地域の方々や関係機関と関わっての計画実現は時間が必要なのでは。
- 全体的に見ていると自己評価が低いのか、具体的に評価するのが難しいと思います。

【改善計画】※後日記入

今後も出来る限り地域資源を活用しながら、ご利用者の希望に沿ったサービスを柔軟に組み入れ、安心して在宅生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいきます。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 事業所の環境は明るく清潔で相談しやすい雰囲気です。玄関先に高齢者が休憩できるベンチがあれば開放感があります。
- お伺いするたびにいつも明るい雰囲気、清潔にされている事に好感をもっています。
- 1年を通じて色々なイベントがあり、家族としても参加しやすい。
- 本人も居心地よく過ごしており、これからもお世話になりたいと思います。

【前回の改善計画】

今後も地域に向けて普通救命講習や認知症サポーター養成講座を通じて、出来るだけ関わる機会を多く作り、自由に意見交換できる場を設ける。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- 地域向けの講座の取り組みから、地域課題や社会資源発掘につながればと思います。
- 静かで落ち着いた印象を受けています。
- 部屋や廊下、すべて明るくて感じが良い。
- 事業所のカラーが黄色で明るい色なのでイメージは良いし、認知しやすい。
- 内部も清潔で、整頓されています。

【今回の改善計画】※後日記入

今後も各フロアのリーダー職員が中心となって、接遇に関する勉強会を開催し、ご利用者、ご家族、地域の方がいつでも不安なく安心して利用できる施設を目指します。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域でマルベリーさんの制服をよく見かけます。情熱を持って自転車で地域を走行されている姿をよく見かけます。
- 2ヶ月に1回の運営推進会議に出席させて頂くようになり、地域とのつながりを大切にされ、実行されている事を知りました。とても大切な事だと思います。
- 事業所自体もかなり認知され、スタッフの方も会えば明るくあいさつをされて気持ちがいいです。困った時は気軽に相談しています。

【前回の改善計画】

今後も地域に向けた様々な活動（通救命講習や認知症サポーター養成講座）を行っていきたいと思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 地域支援者も高齢化している為、マルベリー職員の力が大切な地域の社会資源です。応援しています。
- 事業所内に入らせて頂くような状況等が自分の身に起きるまでは、やはりわからない事が多いと思います。勉強会等があれば時間が許すかぎり参加したい。
- 事業所自体がイベントを開いたり、町内行事にも参加している姿はよく見かけます。

【改善計画】※後日記入

今年こそ、地域住民参加型の認知症サポーター養成講座、普通救命講習を開催します。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 節目で行事（催し）を参画されており、利用者様と地域との交流を図っている様子がみられました。
- 事業所の職員の方々には大変ご苦労かとは思いますが、地域の行事イベント、また季節によって外出されたり利用者の方々にとってとても良いことだと思います。
- 色々なイベントや行事があり、積極的に参加させてもらっています。こちら側から施設の人に気になる人がいれば月1回の面談の時に話をさせてもらっています。

【前回の改善計画】

今後も継続して地域との交流を図る事で、地域に住んでおられる方の生活を支えていきたいと思えます。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- 地域の行事に定期的に参加されたり、事業所での行事にも地域の方をお招きするなど交流・連携につとめていらしゃると思えます。
- 『出来る限り自分のことは自分で…』と考えておられるの方々にとって、出向いてもらって生活支援を受けられることは心強いと思えます。
- 月1回くらいでケアマネジャーと面談をしてもらい、こちらの話を聞いてもらっている。

【改善計画】※後日記入

まだまだ地域の課題に向き合って、積極的な活動は出来ていないように感じる為、今後は地域の方と様々な活動（地域の活動・マルベリーのイベント）を通じて、気軽に話が出来る環境を整えます。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 日頃から地域との連携を図っていること。また、その意欲が強く感じられます。
- とてもいい取り組みであり、利用者の方、ご利用者の参加も、地域から参加した者にとって活動の参考になっています。
- 運営推進会議にはよく参加させてもらっています。地域の方や、他の期間の方が参加されており、地域と施設が連携する事の重要性が見れました。

【前回の改善計画】

管理者・介護支援専門員・ユニットリーダー以外の職員の参加率が低かった為、今後も目標を継続して、決められた介護職員以外も定期的に参加出来る環境を整える。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- 会議を通じて直接地域の方の意見を聞く事ができるのは貴重だと感じました。
- 会議に参加させて頂いた時、近況報告等の交換は通期や事業所の現状把握に役立っています。もし可能なら何か1つテーマを決めて頂いて意見交換をしたり、次の課題にして頂くのはどうか？
- 病院側、地域包括支援センター側からの取組みがあれば聞けると良いと思います。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議の内容や、参加者については今後も今の状態を維持しながら、参加する職員が管理者とリーダーだけでなく、介護職員も出来る限り参加出来るような体制を整えます。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	1	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域の方を含めて防災訓練をされており、避難所の再認識や周知にも繋がっていると思います。
- 運営推進会議に初めて参加させて頂いた時に防災訓練に参加して、とても分かりやすく実技もあり、今も覚えています。継続して頂きたいと思います。
- 毎回ではないが、施設の防災訓練には参加させてもらっています。その他についてはわからない事が多いと思います。

【前回の改善計画】

いつ起こるかどうかわからない火災や水害、未曾有の大災害に備えて年2回避難訓練を行っていますが、同じ訓練を繰り返すだけでなく、様々な大災害に備えて、訓練を実施していきたいと思います。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- 台風接近時に独居の方がショートステイを利用し、不安緩和や安全を確保できるケースもあるとお聞きし、大変感心しました。
- 情報収集などの方法がどんどん新しくなっているので、地域・関係機関との情報交換が上手にできるよう会議でも考えていければと思う。
- 避難順路みたいなものが明確に表示されており、訓練を行う毎に効率のよい経路があれば順次考えていくようにすれば、何かあった時に役立つと思います。

【改善計画】※後日記入

毎月のミニ防災訓練、年2回の防災避難訓練は継続し、昨年経験した災害時のトラブルを教訓にしながら、もう一度災害対策マニュアルを見直し、緊急時も焦る事なく対応できる様、施設全体で取り組んでいきます。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 淀井病院	代表者	淀井 省三	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開設以来、年々地域との繋がりも強化出来ており、年間地域行事である、子どもみこし、お餅つきへ毎年参加し、地域のふれあい喫茶へも毎月2回の開催日は必ず参加している。また定期的にふれあい喫茶を開催している地域の婦人部の方が、マルベリーにて出張ふれあい喫茶を開催してくれている。家族会も年1回継続して行っており、職員が間に入り家族同士の交流も図れている。</li> <li>●医療面に関しても医療法人である強みを生かし、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活が過ごせるよう医療職との連携を図っている。</li> <li>●年2回行われる避難訓練では、ご利用者、ご家族、地域住民参加型の訓練を行う事で、職員の災害に対する意識向上が図れている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能ホーム マルベリー	管理者	富嶋 博之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	1人	1人	1人	人	4人	2人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後もご家族、職員間の連携強化を図る事で、地域の方や利用されているご利用者、ご家族の方が安心して暮らしていける様サポートを行ってきます。	開設して9年となり、地域との関係性も構築出来ているように感じます。また、通い、宿泊、訪問サービスがある中で、出来るだけ今まで生活してこられた環境を変える事なく、在宅生活が過ごせるような支援も行う事が出来ています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員が自ら提供するサービス内容について振り返りを行い、各自の振り返り結果をミーティングにより確認しながら問題意識を向上させ、現状の課題や質の向上に向けて取り組む姿勢が見られます。</li> <li>●事業所評価に姿勢は大変積極的だったと思います。</li> <li>●スタッフ全員の意見を取り入れようとする姿勢が十分うかがえました。</li> <li>●事業所全体ではよく取り組んでいると感じます。</li> </ul>	今後も出来る限り地域資源を活用しながら、ご利用者の希望に沿ったサービスを柔軟に組み入れ、安心して在宅生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も地域に向けて普通救命講習や認知症サポーター養成講座を通じて、出来るだけ関わる機会を多く作り、自由に意見交換できる場を設ける。	各フロアのリーダー職員が接遇向上係を担っており、ご本人、ご家族からの急な相談、新規ご利用者の相談があっても、親身になって対応する事が出来ています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所の環境は明るく清潔で相談しやすい雰囲気です。玄関先に高齢者が休憩できるベンチがあれば開放感があります。</li> <li>●お伺いするたびにいつも明るい雰囲気、清潔にされている事に好感もっています。</li> <li>●1年を通じて色々なイベントがあり、家族としても参加しやすい。</li> <li>●本人も居心地よく過ごしており、これからもお世話になりたいと思います。</li> </ul>	今後も各フロアのリーダー職員が中心となって、接遇に関しての勉強会を開催し、ご利用者、ご家族、地域の方がいつでも不安なく安心して利用できる施設を目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	今後も地域に向けた様々な活動（通救命講習や認知症サポーター養成講座）を行っていききたいと思います。	地域との交流を大切にする為、年2回の行事であるお餅つき・夏祭りには、今年もマルベリーのご利用者、職員が参加しています。また今年は、他事業所に向けて普通救命講習を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域でマルベリーさんの制服をよく見かけます。情熱を持って自転車地域を走行されている姿をよく見かけます。</li> <li>●2ヶ月に1回の運営推進会議に出席させて頂くようになり、地域とのつながりを大切にされ、実行されている事を知りました。とても大切な事だと思います。</li> <li>●事業所自体もかなり認知され、スタッフの方も会えば明るくあいさつをされて気持ちがいいです。困った時は気軽に相談しています。</li> </ul>	今年こそ、地域住民参加型の認知症サポーター養成講座、普通救命講習を開催します。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>今後も継続して地域との交流を図る事で、地域に住んでおられる方の生活を支えていきたいと思っています。</p>	<p>町会のふれあい喫茶には毎月参加させて頂き、3ヶ月に1回程度は出張ふれあい喫茶と言う形で、マルベリーにて開催しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●節目で行事（催し）を参画されており、利用者様と地域との交流を図っている様子がみられました。</li> <li>●事業所の職員の方々には大変ご苦勞かとは思いますが、地域の行事イベント、また季節によって外出されたり利用者の方々にとっても良いことだと思います。</li> <li>●色々なイベントや行事があり、積極的に参加させてもらっています。こちら側から施設の人に気になる人がいれば月1回の面談の時に話をさせてもらっています。</li> </ul>	<p>まだまだ地域の課題に向き合って、積極的な活動は出来ていないように感じる為、今後は地域の方と様々な活動（地域の活動・マルベリーのイベント）を通じて、気軽に話が出来る環境を整えます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>管理者・介護支援専門員・ユニットリーダー以外の職員の参加率が低かった為、今後も目標を継続して、決められた介護職員以外も定期的に参加出来る環境を整える。</p>	<p>2ヶ月に1回は必ず運営推進会議を開催し、事業所の運営報告だけでなく、地域の取り組みを検討したり、地域で起きている問題なども会議の中で話し合う事が出来ています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃から地域との連携を図っていること。また、その意欲が強く感じられます。</li> <li>●とてもいい取り組みであり、利用者の方、ご利用者の参加も、地域から参加した者にとって活動の参考になっています。</li> <li>●運営推進会議にはよく参加させてもらっています。地域の方や、他の期間の方が参加されており、地域と施設が連携する事の重要性が見れました。</li> </ul>	<p>運営推進会議の内容や、参加者については今後も今の状態を維持しながら、参加する職員が管理者とリーダーだけでなく、介護職員も出来る限り参加出来るような体制を整えます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>いつ起こるかどうかわからない火災や水害、未曾有の大災害に備えて年2回避難訓練を行っていますが、同じ訓練を繰り返すだけでなく、様々な大災害に備えて、訓練を実施していきたいと思っています。</p>	<p>大災害に備え、毎月のミニ防災訓練では備品のチェック、設備点検を行い、年2回は防災避難訓練を行っていましたが、昨年は大規模な地震と台風があり、大きな被害はありませんでしたが、戸惑う事が多くありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の方を含めて防災訓練をされており、避難所の再認識や周知にも繋がっていると思います。</li> <li>●運営推進会議に初めて参加させて頂いた時に防災訓練に参加して、とても分かりやすく実技もあり、今も覚えています。継続して頂きたいと思っています。</li> <li>●毎回ではないが、施設の防災訓練には参加させてもらっています。その他についてはわからない事が多いと思います。</li> </ul>	<p>毎月のミニ防災訓練、年2回の防災避難訓練は継続し、昨年経験した災害時のトラブルを教訓にしながら、もう一度災害対策マニュアルを見直し、緊急時も焦る事なく対応できる様、施設全体で取り組んでいきます。</p>

